

巻頭言

病院誌第 26 巻発刊に寄せて

病院長 石橋 悟

病院誌の意味を見つけるヒントになるのではないかと思います。「病院誌の存在意義について、なぜ自分はここまでこだわるのか?」を考えてみました。病院誌そのものに焦点を当てるのではなく、病院誌の意味に拘る自分に焦点を当ててみたのです。結果、たくさんの原著、症例報告を掲載し、どの病院にも負けない秀逸な雑誌が病院誌である。というイメージを持ち、そこに到達しない病院誌を自分自身が許せない。と、無意識に考え、病院誌そのものを否定していたのではないかという結論に至りました。自分の存在意義を病院誌に求めることを止めたら、急にいとおしい存在になりました。

今回は、原著 1 編と症例報告 4 例の掲載です。一つ一つがそれぞれの著者、また、読者にとって大変意味のある内容だと思います。存在そのものに意味がある病院誌として堪能していただけると幸いです。